

第8回子育て・教育部会 主な意見

《保護者層の積極的な参画・今後の部会での検討内容について》

●情報周知の方法について

- ・ニュースレター配布に加え、小中学校の保護者メールも活用できないか
⇒メール配信は可能（市）
- ・各学校の先生がニュースレターを渡す際「保護者の方に渡してね」と言うのが効果的では
- ・ニュースレターを配るタイミングも重要（月初めは避ける）

●部会への参加者を増やす方法について

- ・地域に住む園児が少ない。個人的な声掛けで数名参加がやっと
- ・小中一貫校化について、まだ何も決まっていない（＝まだまだ意見可能）アピールがあるとよい

●部会以外での意見を聞く場について

- ・匿名性のあるアンケートの方が意見を集めやすいのでは
- ・1/27 のイベントで学校再編に関する資料も用意する予定。保護者にみてもらって話ができるとうい
- ・授業参観日の機会に見てもらえるように、ポスターを掲示するなどしてはどうか
⇒小中学校への掲示は、小中一貫校の議論が子どもの目に触れる影響を慎重に考慮する必要がある（市）

●今後の検討内容について

- ・これからの地域の教育内容について話せる場などであればどうか
- ・小中一貫校化の議論にあたっては、子どもを増やす方法論としてではなく、良い環境をつくる気持ちが大事

（まとめ）

- ・部会の参加者を増やす取組みについては、局面でのチラシ配布や、関係者の口コミでの宣伝や、小中学校でのポスター掲示・保護者メールへの配信などの実施を検討
- ・1/27 実施のような地域のイベント、授業参観などの学校イベントなど、部会以外の機会でも小中一貫校化についての意見を集めていく
- ・ニュースレターでは部会の呼びかけの仕方、部会以外での意見を聞く場があることの周知を工夫
- ・2～3月は小中一貫校化による不安や懸念事項を解消するための取組みについて意見交換。4～5月に部会としての意見をとりまとめ予定

《居場所づくりプロジェクトのイベントについて》

（イベント内容について、企画会議メンバーより説明。物品や当日、前日準備の協力を呼びかけ）

- ・イベント当日や前日準備の協力依頼については、次回からはもう少し早めに連絡があるとよい

【メールにより寄せられた意見】（富秋中・幸小に通う子どもの親御さん1名より）

- ・富秋中学校の現状を考えると、小学生に悪影響が及ぶことが心配。現状のままでは反対
- ・幸小は避難場所として必要。災害時に幸小から富秋中に避難することはない